

## 平成 27 年度 校長裁量経費採択者報告会 の開催報告

昨年度に採択された校長裁量経費に係る研究成果の報告会が下記の内容で開催され、テクノプラザ会員の皆様にご案内しました。

この経費は、校長によるリーダーシップのもと、鈴鹿高専の一層の充実発展を図るために、教育方法の改善や、ものづくり活動を通じた学生の創造性の涵養、産業界との交流促進などを目的としたプロジェクト、および教員個人の研究を校内で募集し、選定して経費配分するものです。

参加頂いた企業会員様には、興味あるテーマについて該当の教職員との別途懇談の時間を設けました。

### 記

1. 日時： 平成 28 年 7 月 27 日（水） 13 時 00 分～17 時 05 分
2. 場所： 鈴鹿高専 2 号館（生物応用化学科・教室棟）3 階 第 3 合併講義室
3. 報告テーマとタイムスケジュール

#### （1 部）各科推薦

13:00～13:10 電子情報工学科

「高度な情報実験を実現する仮想化環境の構築」

#### （2 部）共同研究

13:15～13:25 白井 達也 准教授

「高専生活を楽しむための導入教育：プラモデル、ミニ四駆、ラジコンカーを体験しよう」

13:30～13:40 板谷 年也 講師

「パルス渦電流センサ搭載飛行ロボットによる鉄筋コンクリート構造物の非破壊検査」

13:45～13:55 平井 信充 准教授

「走査型イオン伝導顕微鏡による緑膿菌バイオフィーム生成初期過程の液中その場観察」

14:00～14:10 甲斐 穂高 講師

「可溶化菌と活性汚泥を併用した新規排水処理法の開発と環境影響評価」

#### （休憩）

14:10～14:20

#### （3 部）個人研究

14:20～14:30 南部 紘一郎 助教

「アルミニウム合金に対する微粒子ピーニング処理と低温窒化を組み合わせたハイブリッド表面改質処理の開発とその特性評価」

14:35～14:45 川口 雅司 教授

「生体における情報処理機構解析と深層学習モデルのハードウェア実現」

14:50～15:00 西村 高志 助教

「結晶方位を制御した遷移金属ナノワイヤーの電気化学的形成と超高感度化学センサーへの応用」

15:05～15:15 井瀬 潔 教授

「電磁界シミュレーション解析高速化の環境構築」

15:20～15:30 伊藤 明 教授

「表面筋電位と小型バイブレータを用いたリハビリ支援システム開発に関する研究」

15:35～15:45 森島 佑 助教

「高度化する情報通信技術に対応可能な低コスト実デバイスベース実験実習法の開発」

15:50～16:00 船越 邦夫 准教授

「冷却プロファイルの制御による大粒径人工サファイアの作製」

16:05～16:15 山口 雅裕 准教授

「アフリカツメガエル赤血球転換に対する酸素分圧の影響」

16:20～16:30 和田 憲幸 准教授

「希土類イオン含有塩化物ガラスの赤外レーザー発振の可能性の調査」

16:35～16:45 幸後 健 助教

「EQCM測定を用いたバイオフィルムの短期間評価の提案」

16:50～17:00 小俣 香織 助教

「水が触媒の表面酸性質に及ぼす作用の解明」

(講評 及び 閉会の挨拶)

17:00～17:05



新田校長による開会挨拶